



IBM Software Group

Software Service

Working Smarter Forum 2009

IBM ソフトウェア プレミアム・サポート 活動事例紹介

InstallShield Tuner によるカスタマイズインストーラーの作成 ～カスタマイズした Template の一括導入手法について～

日本アイ・ビー・エム 株式会社
ソフトウェア プレミアムサポート
田口 晃展

Information Management software



WebSphere software



Lotus software



Tivoli software



Rational software



特記事項

- 本資料の記載内容は、できる限り正確を期すよう努めてはおりますが、いかなる明示または暗黙の保証も責任も負いかねます。
- 本資料の情報は、使用先の責任において使用されるべきものであることを、あらかじめご了承ください。
- 掲載情報は不定期に変更されることもあります。他のメディア等に無断で転載する事はご遠慮ください。
- 当資料をコピー等で複製することは、執筆者の承諾なしではできません。
- また、当資料に記載された製品名または会社名はそれぞれの各社の商標または登録商標です。

IBM、IBMロゴ、Lotus、Lotus Notes、Lotus Domino は、International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における商標。JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標です。他の会社名、製品名およびサービス名等は、それぞれ各社の商標です。

目次

- はじめに ... 4
- InstallShield Tuner for Lotus Notes 5
- 作成手順 6
- カスタマイズインストーラーの実行方法 15
- 最後に 16

はじめに

- お客様の希望するポータル画面を設定したブックマークテンプレートをクライアントマシンに導入する。
- グループ文書、ユーザー文書を登録済みの個人アドレス帳テンプレートをクライアントマシンに導入する。

など、お客様の希望するカスタマイズを行ったテンプレートの配布が必要な場合があります。

通常の Lotus Notes Client のインストール手順では、

1. 標準の Lotus Notes クライアントインストーラーを使ってインストール
2. カスタムテンプレートを、ユーザーによる手動置き換え、または別ツールを使ってインストール

の二つの手順が必要ですが、カスタマイズ版クライアントインストーラーを作成することにより、この二つ目の手順を省略し、一括してカスタマイズテンプレートを展開することができます。

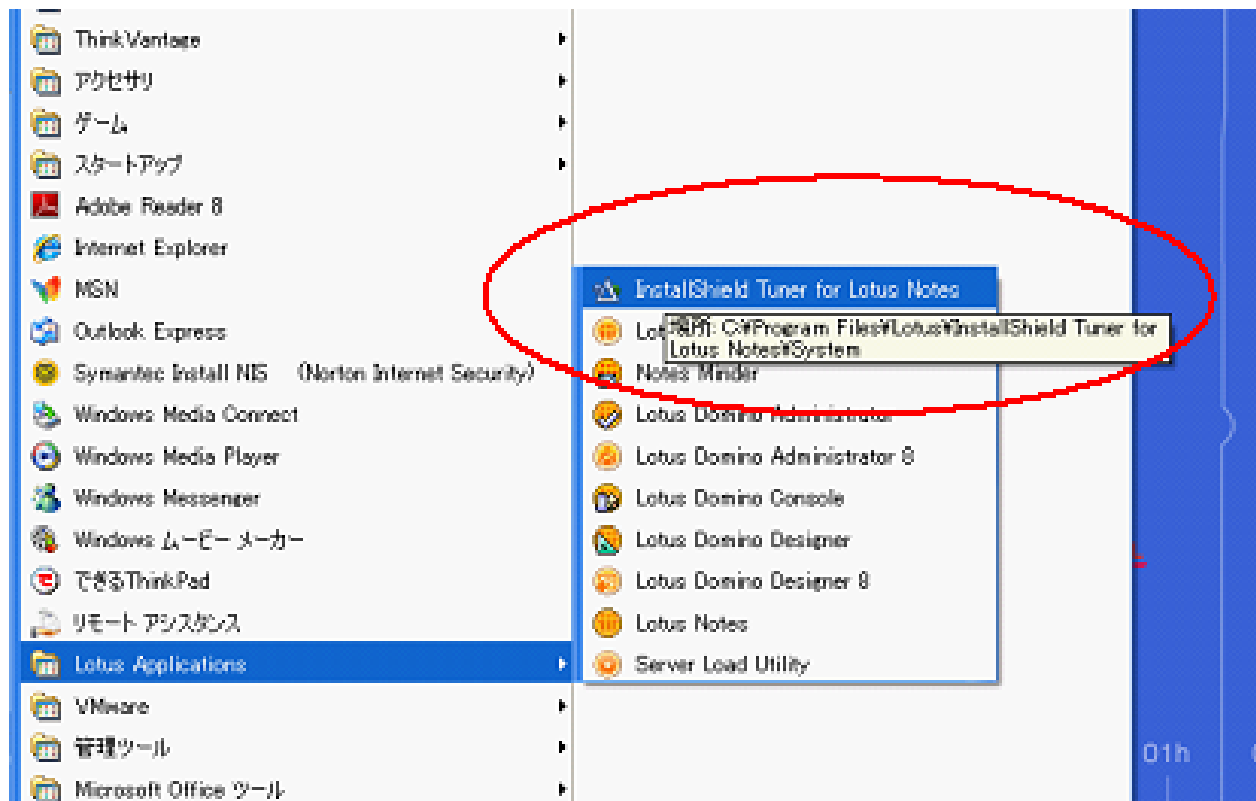
当資料では、カスタマイズした bookmark.ntf を一括導入するインストーラーを作成する場合の実際の手順について説明します。

InstallShield Tuner for Lotus Notes

- カスタマイズ版インストーラーを作成するには、「InstallShield Tuner for Lotus Notes」が必要です。
- このツールを使用することによって、カスタマイズしたテンプレートを組み込んだ、cab ファイル、mst ファイルを作成することができます。
- ファイルの入手方法
 - ▶ IBM Passport Advantage Webサイトから、以下のファイル(ファイルサイズ:約14MB)をダウンロードしてください。
 - “Install Shield Tuner for Lotus Notes 7.0.x, 8.0.x and 8.5.xfor Windows 2000, 2003 English” (C84T5NA)

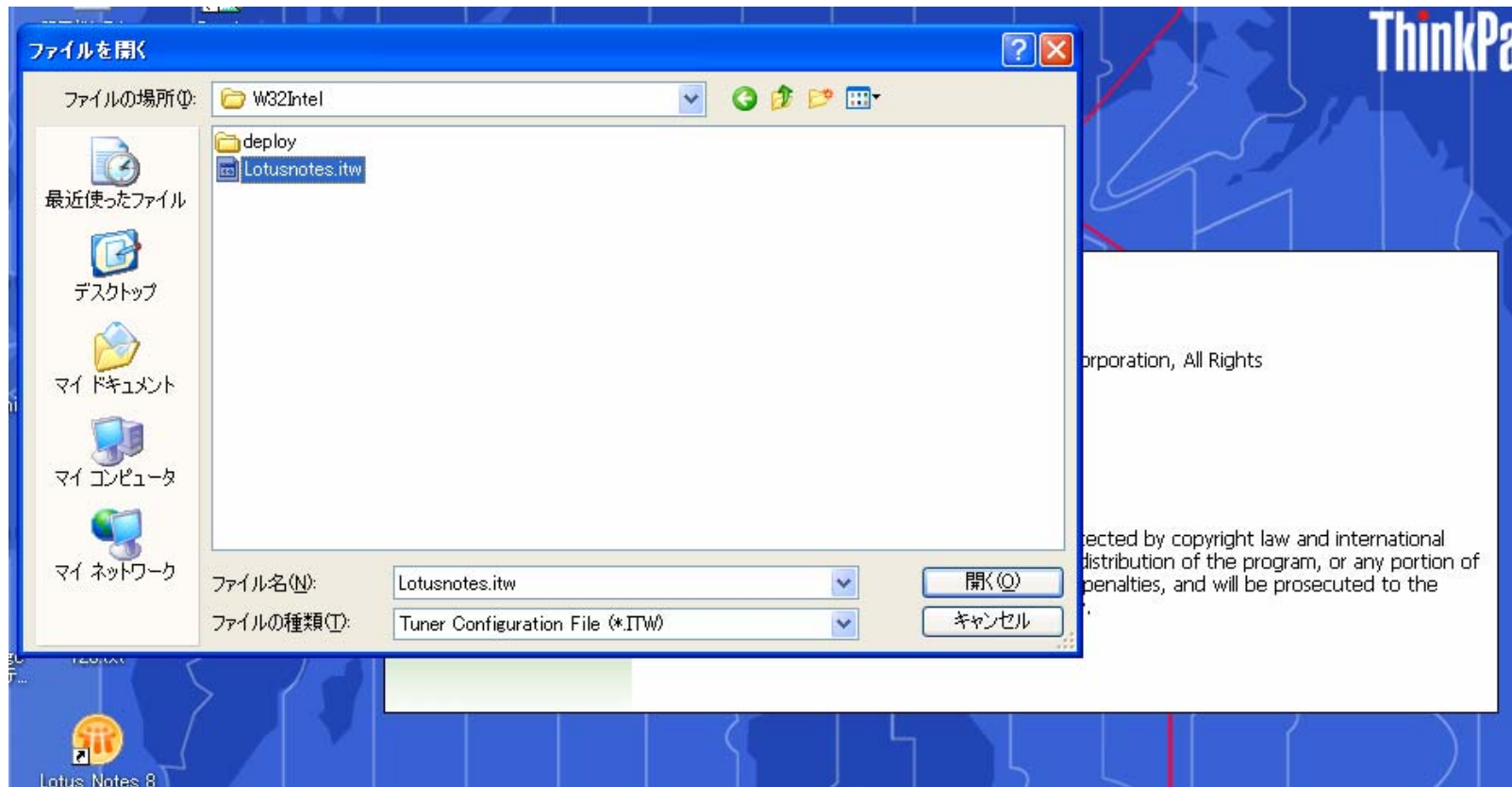
作成手順(1)

1. カスタマイズした bookmark.ntf と、Lotus Notes Client のインストーラーを作業用のフォルダにコピーします
2. “InstallShield Tuner for Lotus Notes” を入手し、インストールします。
3. “Lotus Applications” プログラムフォルダーに、登録されます。



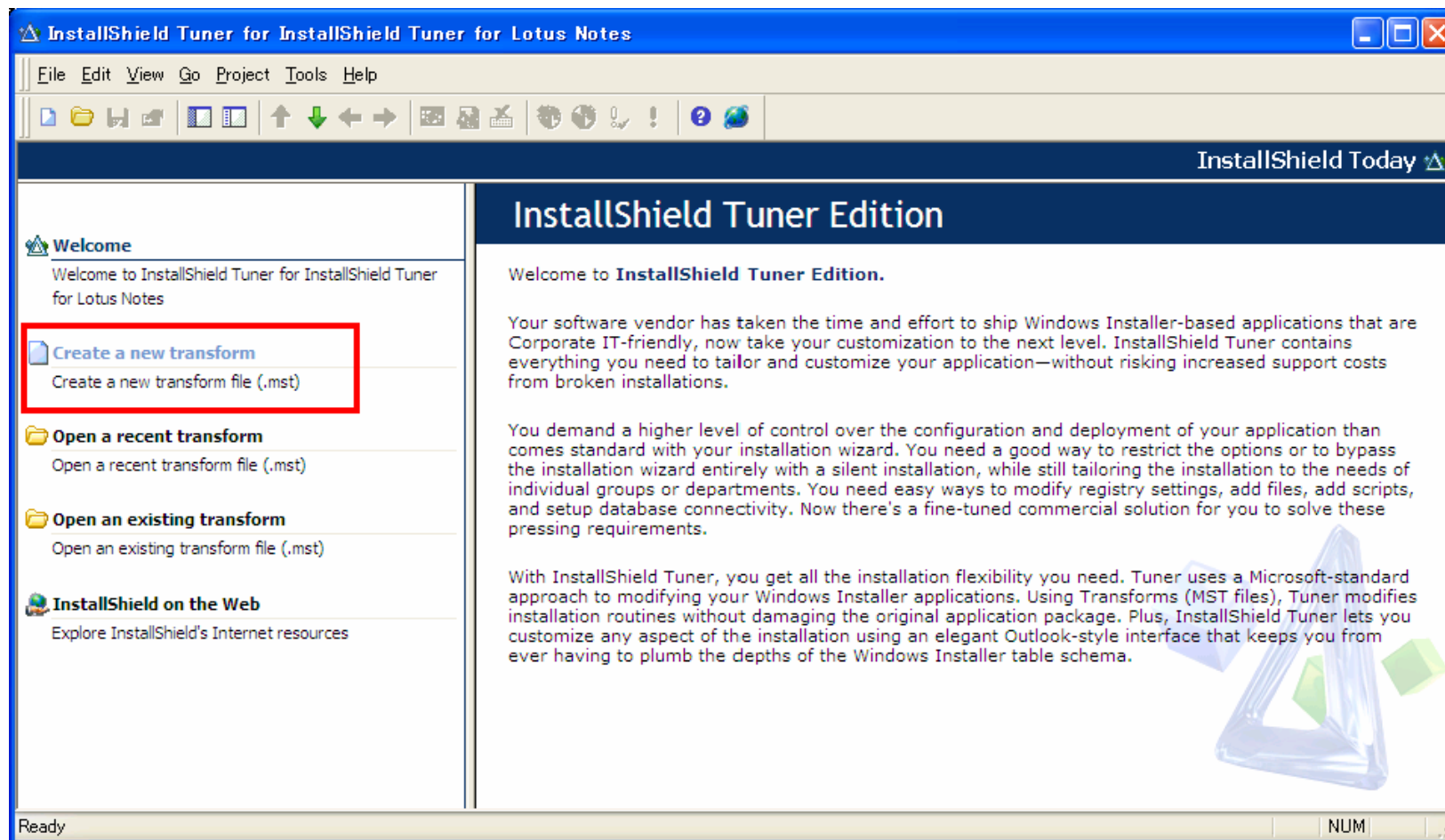
作成手順(2)

4. インストール後、“InstallShield Tuner for Lotus Notes” を起動します
5. 起動すると、ファイルの選択画面が表示されますので、Lotus Notes クライアントインストーラーの中にある既存の“Lotusnotes.itw” ファイルを開きます。



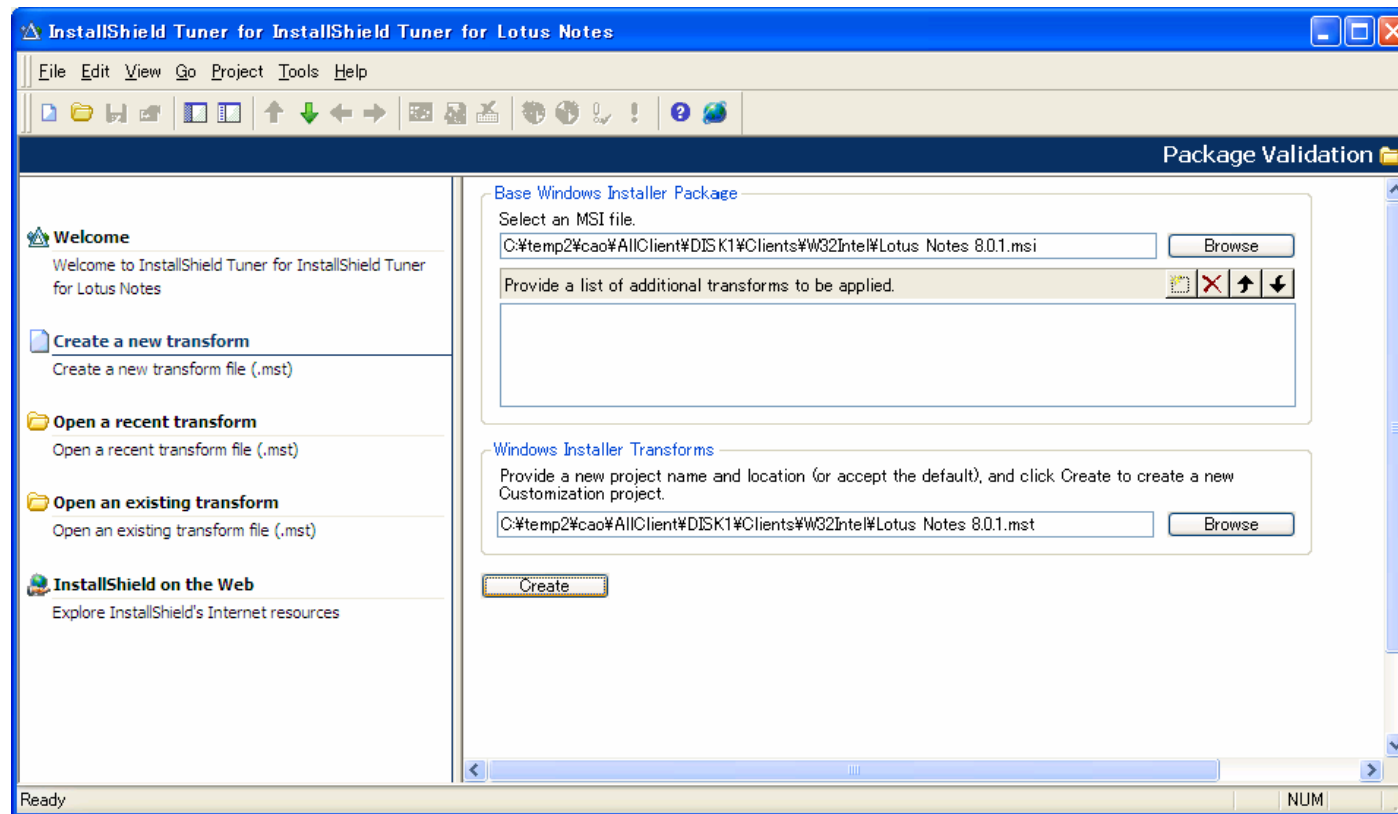
作成手順(3)

6. Tuner が起動したら、左側のナビゲーターから、“Create a new transform” を選択します



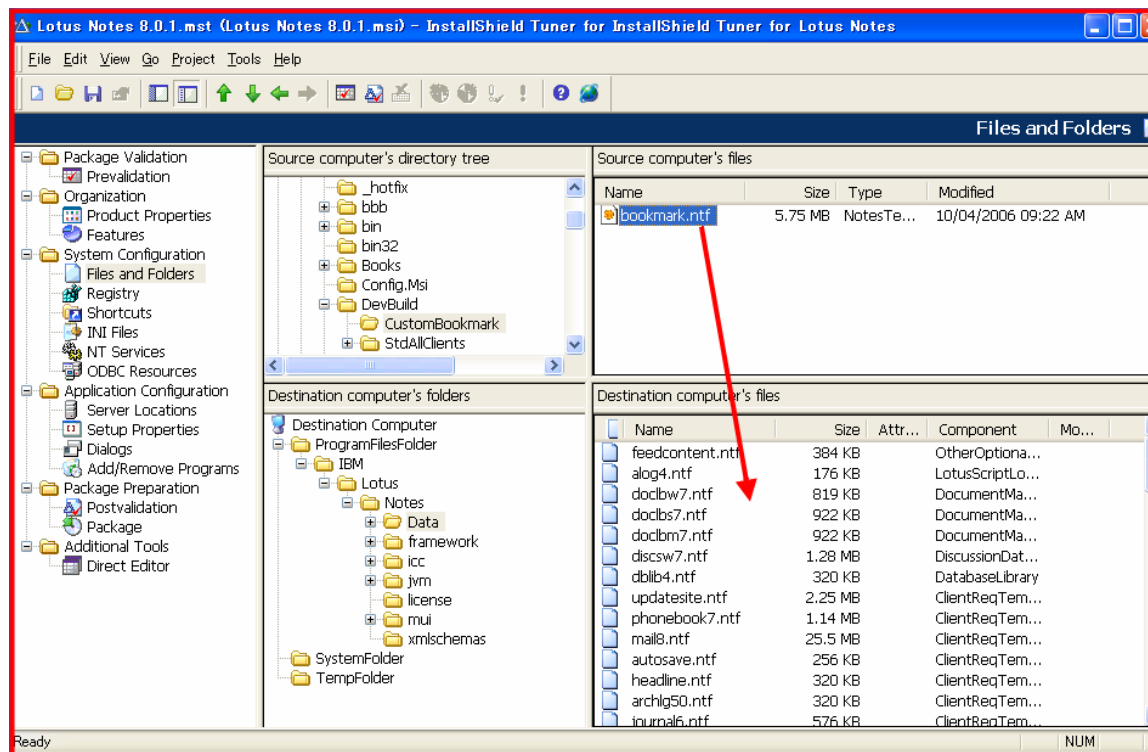
作成手順(4)

7. “Select an MSI file.” に、Lotus Notes インストーラの “Lotus Notes 8.0.1.msi” (Notes 8.0.1 の場合です。他のバージョンではファイル名が変わります。) を指定し、“Create” ボタンを押します。
下の項目の “Windows Installer Transforms” に自動的に “Lotus Notes 8.0.1.mst” が入力されますが、ここでは変更しないでください。



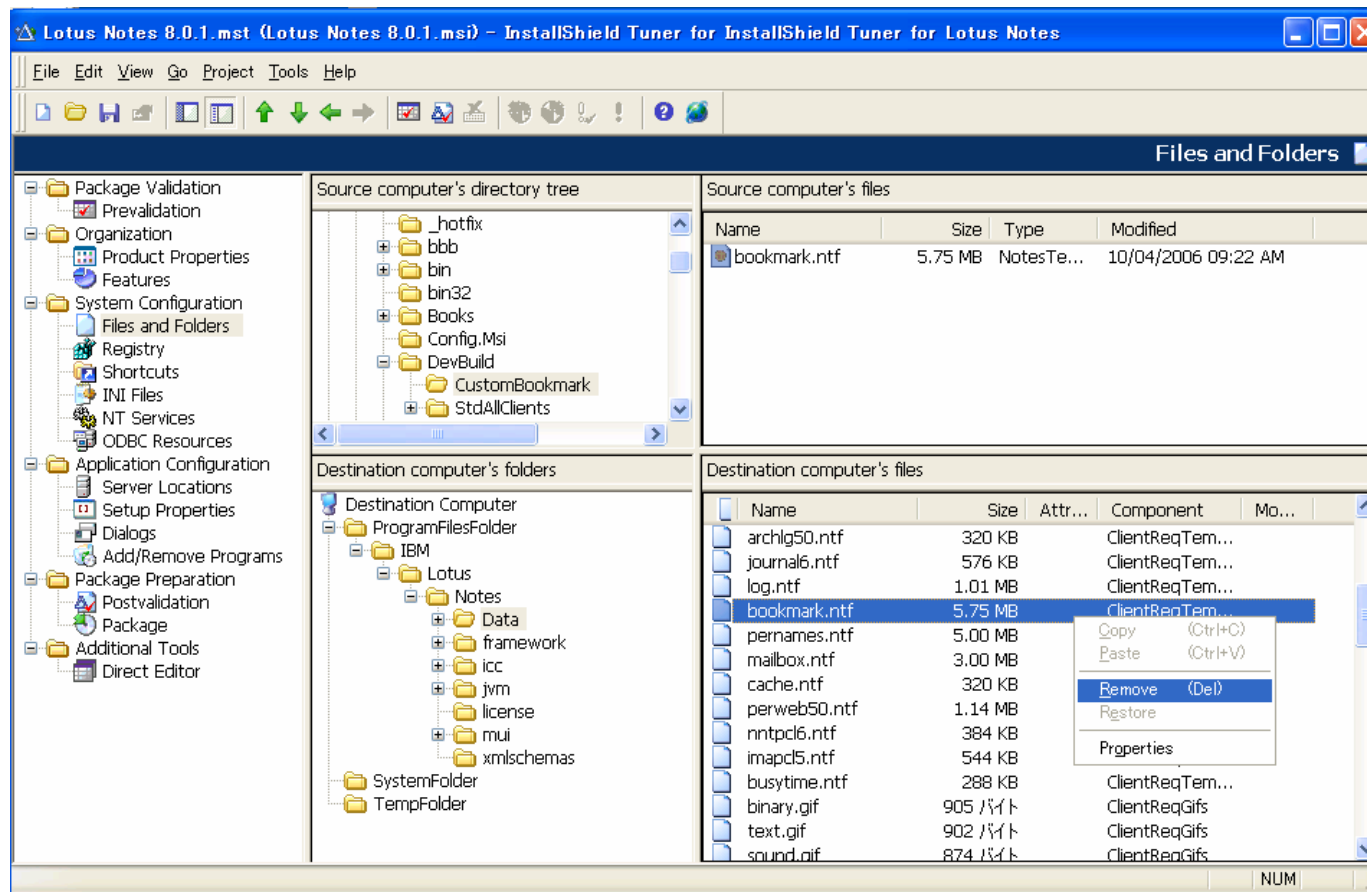
作成手順(5)

8. [System Configuration]–[Files and Folders] を選択すると、フォルダとファイル一覧が表示されます。中央下の [Destination Computer's Folders] で、[ProgramFilesFolder]–[IBM]–[Lotus]–[Notes]–[Data] を選択します。中央上のディレクトリツリーと右上のファイル一覧で、カスタマイズされた bookmark.ntf を選択して、右下のファイル一覧にドラッグ & ドロップします。



作成手順(6)

9. 右下の [Destination Computer's files] で、元々含まれていた、標準の bookmark.ntf を選択し、マウス右クリックメニューより、"Remove(Del)" を実行します。



作成手順(7)

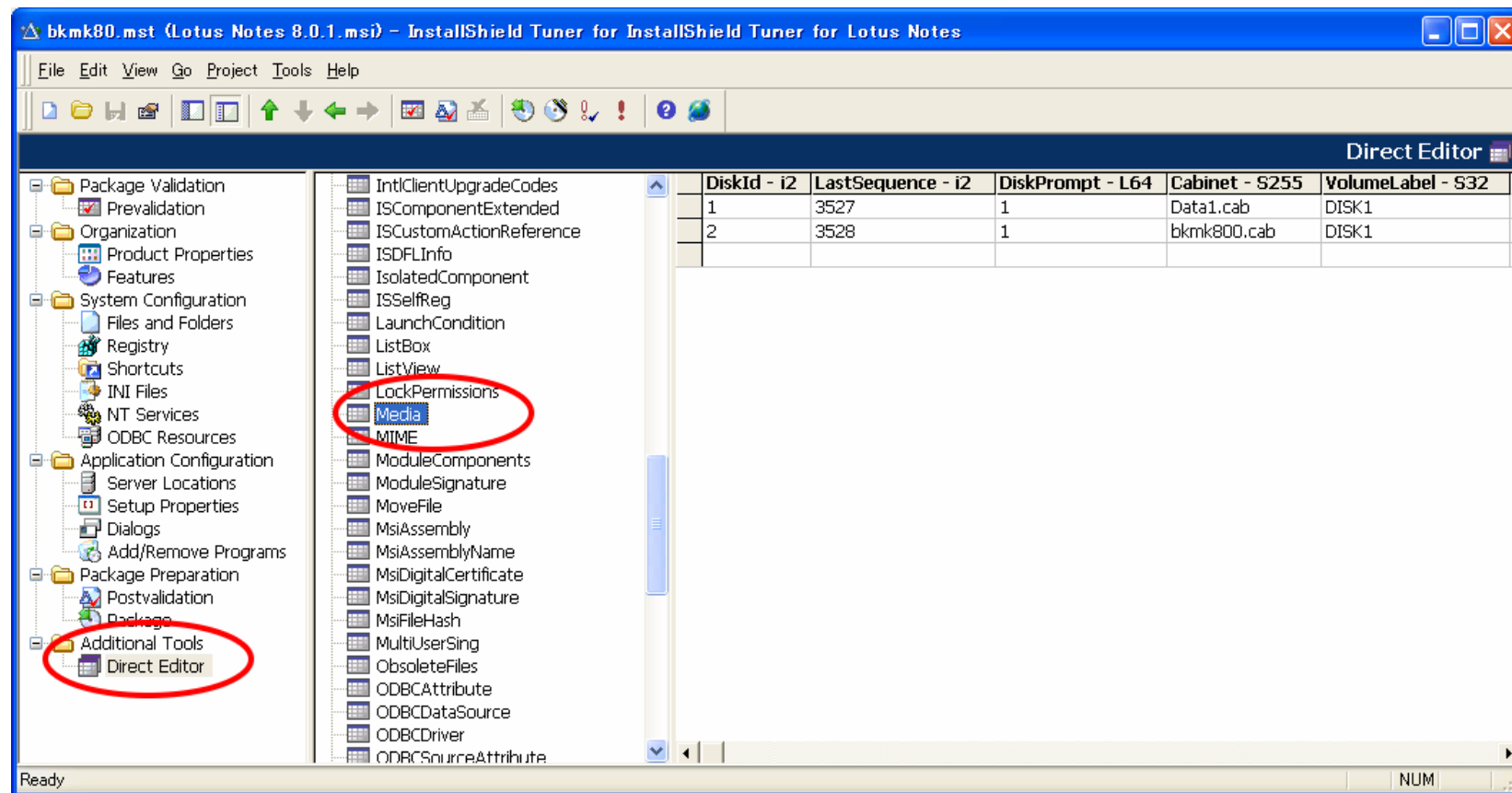
10. ナビゲーターより、[Additional Tools]-[Direct Editor]、中央で、[Tables]-[Component] を選択し、右のペインで、一番下の “CST_COMPONENT” の “Directory_s72” 列の値を、“DATA” から、“VDIR_SHARED” に変更します。

The screenshot shows the Lotus Notes 8.0.1 Direct Editor interface. The left pane shows the project tree with 'Additional Tools' and 'Direct Editor' selected. The middle pane shows the 'Component' table. The right pane shows the 'Attributes' table for the selected row.

Component - s72	ComponentId - S38	Attributes
_C97F502D60808583	{C97F502D-D608-0858-0B32128D-DAF9-54C7-174017DA3-3728-543E-5C4C78299461DE9E}	SendToFolder 24
_0B32128DAF954C7E	{0B32128D-DAF9-54C7-174017DA3-3728-543E-5C4C78299461DE9E}	SERVER 24
_74017DA33728543EE	{74017DA3-3728-543E-5C4C78299461DE9E}	StartMenuFolder 24
_5C4C78299461DE9E	{5C4C7829-9946-1DE9-38684E3D4E39DE5}	StartupFolder 24
_38684E3D4E39DE5	{38684E3D-D4E3-9DE5-D6C5DA02A9BA976}	SvrLoad 24
_D6C5DA02A9BA976	{D6C5DA02-2A9B-A976-265F5A1D1459A0A}	System16Folder 24
_265F5A1D1459A0A	{265F5A1D-D145-9A0A-D98074CAAAF9F9F75}	System64Folder 24
_D98074CAAAF9F9F75	{D98074CA-AAF9-F9F7-95137A5F22CF677C}	SystemFolder 24
_95137A5F22CF677C	{95137A5F-F22C-F677-0D0296DDCEE260D0}	TARGETDIR 24
_D0296DDCEE260D0	{D0296DDC-CEE2-60D0-E441F92C83677B9E}	TempFolder 24
_E441F92C83677B9E	{E441F92C-C836-77B9-E827A7E4D20C096E}	TEMPLATE 24
_827A7E4D20C096E	{827A7E4D-D20C-096E-76F26E2F853954CE}	TEMPLATE1 24
_76F26E2F853954CE	{76F26E2F-F853-954C-EA149A9E0B15500}	TemplateFolder 24
_EA149A9E0B15500	{EA149A9E-E0B1-5500-1EEDDEB994903C2B}	TTFONTS 24
_1EEDDEB994903C2B	{1EEDDEB9-9490-3C2B-8EA678B044B18FC}	USERPROFILE 24
_8EA678B044B18FC	{8EA678B0-044B-18FC-EADDBCA111058FCBB}	VDIR_COMMON 24
_CDDBCA111058FCBB	{CDDBCA11-1058-FCBB-61144ADAF87D16E}	VDIR_COMMON_V 24
_61144ADAF87D16E	{61144ADA-AF87-D16E-F2690ACD41A2C4D}	VDIR_DATA 24
_F2690ACD41A2C4D	{F2690ACD-D41A-2C4D-3F2F3E30E9200403}	VDIR_EDITCTRL 24
_3F2F3E30E9200403	{3F2F3E30-DE92-0040-74C26EF3EA48BF8}	VDIR_EDPANEL_IT 24
_74C26EF3EA48BF8	{74C26EF3-3EA4-8BF8-363F3341BA88FA92}	VDIR_HTML 24
_363F3341BA88FA92	{363F3341-1BA8-8FA9-94E25C1494BC716}	VDIR_HTML_ICONS 24
_94E25C1494BC716	{94E25C14-494B-C716-AC62726889AD1309}	VDIR_ICONS 24
_AC62726889AD1309	{AC627268-89AD-1309-A9FFF403-193A-4603-E}	VDIR_IIOPI 24
A9FFF403-193A-4603-E		VDIR_INI 24
		VDIR_INOTES 24
		VDIR_JAVA 24
		VDIR_SAMETIME 24
		VDIR_SHARED 24
		VDIR_SHARED_HE 24
		VDIR_SHARED 0

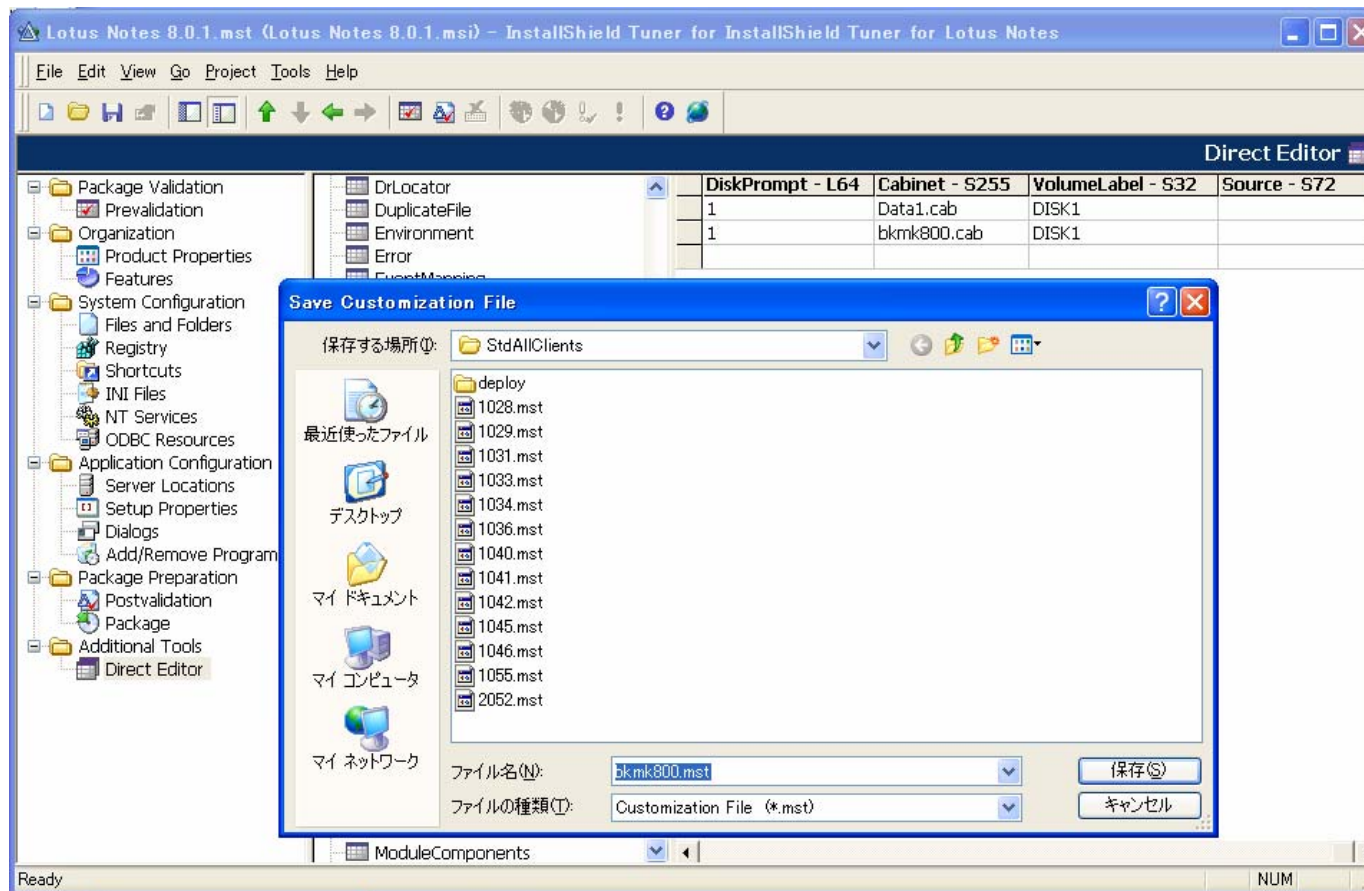
作成手順(8)

11. 中央で、[Media]を選択し、
右のペインで、作成する CAB ファイル(DiskId が 2) の指定を下図のように追加します。
この例では、Cabinet ファイル名は bkmk800.cab としています。



作成手順(9)

12. [File] メニューより、“Save As...” を選択し、カスタマイズに使用した Lotus Notes インストールディレクトリに前項で指定した CAB ファイルと同名（例では “bkmk800.mst”）で、MST ファイルを保存します。
13. 保存が完了したら、“InstallShield Tuner for Lotus Notes” を終了します。



カスタマイズインストーラーの実行方法

- カスタマイズしたインストーラーのディレクトリで、以下のコマンドを実行してください。

- ▶ サイレントインストールの場合、

```
.¥setup.exe /s /v"/qb+ TRANSFORMS="bkmk800.mst""
```

- ▶ 対話画面を表示する場合

```
¥setup.exe /s /v"TRANSFORMS="bkmk800.mst""
```

最後に

- Lotus Notes のインストーラーは他にもカスタマイズする方法があります。
- Lotus Domino Administrator ヘルプの「Lotus Notes Client のインストールと Smart Upgrade」章に他の方法が記述されていますので、ご参照ください。

- 私たちプレミアム・サポートチームの主力サービスであるプレミアム・サポートを以下のURLでご紹介しております。是非、ご覧ください。本資料もサービス活動の中での事例です。

<http://www-06.ibm.com/software/jp/lotus/support/psp.html>

IBM ソフトウェア プレミアム・サポート ~ブランドスペシャリストによるPA拡張サポートサービス~

■ このようなお客様へお奨めします

- ▶ トラブルの起きない(トラブルに強い)システムを構築したい
- ▶ 万一トラブルが発生した際は早期解決したい
- ▶ システム運用のTCOを削減したい
- ▶ 運用課題に対して的確なアドバイス・コンサルティングを受けたい
- ▶ 環境を把握しているスペシャリストに深いサポートをして欲しい
- ▶ 過去の履歴からシステムを総合的に見て欲しい
- ▶ 運用スキルを上げるために効果的な教育をして欲しい

■ 前提

- ▶ 有効な PA のソフトウェア・メンテナンスを所有
- ▶ 対象製品: IBM ソフトウェア ミドルウェア製品 (一部除く)

■ 問い合わせ先

- ▶ お問い合わせはIBM営業担当員へお願いします。

■ 参考価格 (消費税別)

- ▶ 月額 110万円 ~ (期間は3ヶ月から)

■ お客様の運用負担(TCO)を大幅に削減いたします

プレミアム・サポートによるブランド特別体制によりお客様担当者のシステム管理作業工数、新システム検討に関するご負担を大幅に削減します。

① お客様のブランド製品の様々な技術・運用相談に対応します

- ▶ お客様のシステム及び運用を熟知したお客様担当ブランドスペシャリスト (PSM: Premium Support Manager) は、IBMソフトウェア製品の様々なご相談に対して、お客様のご要望に満たすソリューション情報を提供します。
- ▶ 常時、PSM が直接ご相談に対応することにより、お客様の日々の運用及び意思決定に対する的確なアドバイスが可能となります。

② 予防保守支援: 製品障害の発生自体を事前に回避します

- ▶ サービス開始後、お客様システムのテクニカルレビューを実施し、トラブルの根本原因を指摘・改善します。また、お客様システムに関係するリグレッション・バグ情報、セキュリティ・ホール情報を常時チェックし、正確且つスピーディーにお知らせすることで問題の発生を抑えます。

③ 問題解決に掛かる時間とワークロードを短縮します

- ▶ PAテクニカルサポートへのお問合せを優先対応します。
- ▶ PSM は、お客様環境情報をPAテクニカルサポートと共有し、日々お客様から挙げられるお問合せを進捗管理することで、問題解決までの最短ルートへ導きます。
- ▶ 重要障害が発生した際、開発部門と交渉し、お客様インパクトを正確かつスピーディーに伝えることで Priority を上げた対応をします。

